

埼玉佛教

平成 29 年 10 月 第212号

平成29年10月31日 発行

No.212

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 木村 盛雄

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社



第69回奉詠大会 埼玉第一教区智山青年会の皆さま（埼玉会館・平成29年9月12日〔火〕）



編集後記	8	目次
事務局日誌	8	
訃報	8	
・第46回研修会	7	▼ 第69回埼玉県各流 讃佛歌奉詠大会
・「埼玉同宗連」	7	▼ 第39回埼玉県佛教徒大会
・第20回講演会	7	・川口市の紹介
・平和の祈り	6	▼ 地区仏教会だより
▼ トビックス	6	・妻沼戦没者慰霊祭
▼ 「埼玉県宗教連盟」	6	法話のつどい

第39回埼玉県佛教徒大会開催地紹介

《川口市の紹介》

埼玉県の南端に位置し、荒川を隔てて東京都に隣接する川口市。街の玄関でもあるJR川口駅は、ペDESTリアン（歩行者）デッキが整備されて東西がつながり、華やかな街に大変貌しました。

東京に隣接する地の利もあって毎年人口増加は続き、また平成23年10月に鳩ヶ谷市と合併したことで、現在川口市の人口は58万3千余。県内ではさいたま市に次ぐ、第2位の都市となっています。川口市には、中央に芝川、東に綾瀬川、南に荒川が流れ、台地と低地からなる複雑な地形を造っています。市域北側の台地では、古くから植木や花きなどの園芸栽培が行われ、市域の70%を占める南西部の低地は鋳物や織物、釣竿、味噌などの醸造業が根付きました。そ



れらは、ものづくりの街の基盤となり、街の発展を支えてきました。その鋳物は、江戸時代に栄えた日光御成道周辺に端を発し、全国有数の工業都市として成長し続け、鋳物の街・川口を不動のものにしていきました。一方、近年は急速にベッドタウン化が進み、かつて林立していた工場群は他地域へ移転。跡地には高層マンションやショッ

ピングセンターなどが建ち、伝統産業と新しい文化が交差する街へと姿を変えています。

川口市には今、映像産業と呼ばれる新産業の芽が育っています。NHKラジオ放送所跡にできたSKIPシティがその拠点。国際Dシネマ映画祭を開くなど、

デジタルシネマを制作する企業やクリエイターなどの育成にも取り組んでいます。SKIPシティには、スペースシャトルで地球に戻った宇宙バラが植樹され、子どもも楽しめる科学館では、高性能な3つの天文台ドームやプラネタリウムなどが、宇宙への関心を高めてくれます。

《伝統産業》

鋳物は川口市を代表する産業の1つで、歴史は古く、江戸時代に確立された地場産業です。鋳物工場は市の南部地域を中心に発展、数々の鋳物製品を作り出してきました。大消費地東京と隣接する好立地条件や、伝統

技術、頼まれたらやり抜く職人氣質、旺盛な研究心と負けじ魂などによって、かつては全国一の『ものづくりの街・川口』を博しました。鋳物工場は最盛期に比べ少なくなりましたが、今も川口にはものづくりの伝統が息づいています。

《植木産業》

植木は、台地の風土に守られながら市内北東部の安行地域あんぎやうを中心に栄えてきました。その台地は標高20以上の起伏に富んだ洪積台地。関東ローム層の赤土を活用し、挿木や接ぎ木、室での貯蔵などの技術が生まれました。江戸時代になると、水運を利用してその技術は江戸の街に運ばれ、安行の名が広がりました。現在も、松や伽羅などの枝ぶりを美しくする仕立て物や、移植しても根を枯らさない根巻きなど、長年の間に培われた伝統技術は安行流といわれ、国内外で高く評価されています。

《日光御成道》
おなりみち

日光御成道は、江戸時代に將軍の日光社参のために整備された街道で、現在の川口市内では国道122号線と県道105号線のルートにあたります。川口と鳩ヶ谷は、日光御成道の宿場選ばれ、人々が行き来する街道の宿場町・商業の町として繁栄してきました。また2つの町は、江戸に向けての植木や釣竿、織物といった伝統産業の供給でも力を貸しあつてきました。そして、鳩ヶ谷地域が川口市に加わったことで、川口と鳩ヶ谷がこれまで以上に一体となるような街づくりが進められていきます。



入場無料

第39回埼玉県佛教徒大会

《大会テーマ》

『ほとけのこころ皆笑顔』

日時 **平成29年10月25日(水)**

開場(受付開始) 12:00・開会13:00・閉会15:30(予定)

会場 **川口総合文化センター「リリア」4階・音楽ホール**

[〒350-1124 川口市川口3-1-1 / 電話 049-249-3777]

《大会次第》

開会行事

- ①開会のことば
- ②記念法楽 《開経偈、三帰依文、表白文、般若心経、普回向》
- ③大会会長挨拶 (一財)埼玉県佛教会会長 木村 盛雄
- ④来賓祝辞
- ⑤諸連絡

記念講演

『落語家・まるこの仏道修行』

つゆ まるこ
露の団姫師 (落語家・天台宗僧侶)

アトラクション

『歌声茶論 ～パイプオルガンの伴奏にのって～』

山田康弘氏 (パッサ協会管弦楽団・合唱団監督)
田中麻理氏 (ソプラノ歌手、二期会会員)

閉会行事

佛旗バトン受渡し (行田市佛教会)
閉会挨拶

地区仏教会だより

妻沼仏教会

戦没者殉難精霊慰霊祭

と法話のつどい

平成29年9月11日(月)、妻沼仏教会傘下の妻沼地区仏教会の主催により、歓喜院本坊を会場に「戦争殉難精霊慰霊祭と法話の集い」が開催された。慰霊祭では、鈴木英全院主を導師に8名の職衆により法要が厳修され、30名程の戦没者遺族が焼香した。



続く「法話の集い」では、田中雪心師(蓮田市・真浄寺住職・埼玉県佛教保育協会理事)が『佛縁』と題して50分にわたる講演を行った。田中師は父親が出征地から戻った時、戦場で敵兵の命をひとつ奪ってしまった罪悪感に苛まれて居る姿を見て、父親の安心を願い、ほとけの道を進む決心をされたという。

例年はエプロンスイング聖歌隊による聖歌が歌われるが、今年には近隣寺院による御詠歌の奉詠も行われた。

秘仏ご開帳

妻沼聖天山歓喜院(高野)の御本尊として祀られている秘仏「御正躰錫杖頭」が平成31年4月にご開帳、一般公開予定。

熊谷市妻沼1627
電話048-588-1644

トピックス

埼玉県宗教連盟 「平和の祈り」



平成29年7月21日(金)、埼玉県宗教連盟(本会会長・木村盛雄理事長)が毎年開催している『平和の祈り』が今年もカトリック川越教会を会場に開催された。今年で創設百周年の大きな節目を迎え、改修工事を終えて間もない川越教会は、聖堂面積が拡張された。『平和の祈り』には「埼玉連」に加盟する教宗派6団体の宗教者が一堂に会し、共に世界平和と安穏な社会の実現に向けて祈りを捧げるというもの。司会進行は、金子嘉広事務局長が務めた。

今年には埼玉県佛教会から加藤玄静副会長を導師として、深谷雅良専務理事(大應寺)、川越市佛教会から千田亮澄師、千田



明寛師(最明寺)、吉川正人師(蓮馨寺)、實浄龍彦師(栄林寺)、大應寺から柏敬一師、津田法和師、藤井敏元師。埼玉県佛教青年会から萩原裕史会長(高福寺)、三浦清志師(大松院)、児玉真隆師(多福院)、事務局から小池康宏・本間照康主事補を含む17名が参加した。

尚、平成29年9月30日(土)、カトリック川越教会創設百周年記念式典が執り行われ、本会から深谷専務理事、小池・本間主事補が出席した。

「第20回講演会」



平成29年10月5日(木)、天理教埼玉教務支庁(さいたま市北区)に於いて、埼玉県宗教連盟主催(木村盛雄理事長)の第20回「埼玉宗連」講演会が開催された。加盟団体から約80名が参加した。本会から、深谷雅良専務理事、馬場知行常務理事、備前島賢光理事、藤井壽雄評議員、野口孝之代議員、三浦清志師、大應寺職員ら9名が参加した。

講師は本会副会長で同連盟理事の加藤玄静師。「今を大事に—いまさら聞けない仏教のおしえ—」と題し、90分の講演が行われた。



加藤師は毎月、自坊の掲示板に仏教のことばを掲出しているという。10月は『蒔かぬ種は生えぬ』。仏教とは因縁因果、蒔いた種が生えるという教え。例えば、小学校時代の友から同窓会へのお誘いが届いたとき、忙しくても、なんとか時間を作って参加しようとする人が居れば、忙しいから今度でいいやと欠席する人も居る。良縁は自らの努力によって生まれるもので、ただ待っているだけでは良縁には恵まれない。同窓会出席への努力は、その場にふさわしい結果として現れ、結果から必ず何かの成果を生み出すもの。これが『因縁果報』であると説明した。

また、目に見える御陰様も大切だが、目に見えない御陰様にどれだけ寄り添う努力ができるか、或いは、感謝の心を持てるかが豊かな人格形成につながる。日々心がけて生活をしてみてはいかがでしょうかと講演を結んだ。

「埼玉同宗連」

第46回研修会



平成29年10月11日(水)、第46回「埼玉同宗連」研修会が埼玉会館にて開催され、約80名が参加した。部落解放同盟埼玉県連合会書記長の小野寺一規氏を講師に迎え、「宗教と同和問題」と題し、ご講演いただいた。

まず、廣田賢也副議長(曹洞)が開会のことばを述べ、続いて、倉持光恭議長(智山)から主催者を代表して挨拶を行った。その後、講師の小野寺一規氏から来賓挨拶をいただき、そのままご講演いただいた。

講演は、「町田差別発言」について触れた。昭和54年8月に米国プリンストンで開かれた世界宗教者平和会議の場で、日本の仏教界を代表する立場の全日本仏教会理事長、町田宗夫・曹洞宗宗務総長が行った「今の日本には部落差別はない」という



発言が差別事件として大きく取り上げられたというもの。

この時、国内では行政が中心となつて同和問題解決に向けて取り組んでいる最中であつた。

また近年、家系図づくりやルーツ探しがブームになつており、過去帳を見たいと寺院を訪問する壇信徒が増加していると聞く。個人情報保護の観点からもガイドラインを策定し、過去帳の公開禁止を徹底するべきであると警鐘を鳴らすと同時に壇信徒への啓発を推進するべきであると提言した。

質疑応答の後、齊藤実朗副議長(浄土)が謝辞と閉会のことばを述べて閉会となった。

討報

お悔やみ申し上げます。

平成29年 7月

18日 八潮市常然寺(浄土)

樋口 哲雄 師(83歳)

19日 坂戸市長久寺(智山)

大塚 寛爾 師(85歳)

元常務理事

9月

8日 熊谷市龍泉寺(高野)

大鷲 堯照 師(65歳)

29日 加須市龍蔵院(豊山)

小川 弘明 師(85歳)

30日 北本市無量寿院(智山)

野呂 素道 師(88歳)



事務局日誌

平成29年 7月

21日▼「埼玉連」平和の祈り(カ

トリック川越教会)

25日▼「埼玉青」写仏

27日▼「全仏」人権協議会(浜

間) 松町人権ライブラリー/本

8月

13日▼事務局「お盆休み」(15

日)

25日▼臨時教化委員会・奉詠大

会打合せ(埼玉会館)

9月

5日▼「埼玉青」写仏

11日▼妻沼戦没者追悼慰霊祭・

法話のつどい(歓喜院/小池)

12日▼第69回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会(埼玉会館)

15日▼県佛大会第3回打合会

(川口リリア/金子局長、

小池、永堀)

29日▼県佛大会舞台打合(川口

リリア/金子局長、小池)

30日▼「埼玉連」カトリック川

越教会創設百周年記念式典

(深谷専務、小池、本間)



10月

5日▼第20回「埼玉連」講演会

(天理教埼玉教務支庁)

11日▼「埼玉同宗連」第46回研

修会(埼玉会館)

12日▼県佛大会第4回打合会

(川口リリア/金子局長、

小池)

▼埼玉青「写仏」

編集後記

先日、大学病院での診察の後、近頃人気急上昇中という生クリーム専門店に向き、生クリームシェイクなるものを飲んだ。その足で献血に行き、事前の血液検査で白血球が多いと指摘され、生クリームが原因かと思いついて白くしまった。白いからと運動が原因でホッとしました。(鯉)

媒介蚊防除マニュアルの策定について(通知)



埼玉県では、デング熱やジカウイルス感染症など蚊媒介感染症の世界的な発生動向を踏まえ、これらの感染症の県内感染事例が発生した場合に備え、防除の手順を策定しました。ホームページ検索サイトで「埼玉県媒介蚊防除マニュアル」を検索してください。

お問合せは…埼玉県保健医療部保健医療政策課(感染症・新型インフルエンザ対策担当) 小貝・椎根、電話048-830-3557